

令和6年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・発声練習が定着し、意欲的に声出しをする生徒が増えた。
- ・旋律創作の授業では、これまでの知識を生かして旋律を創意工夫する姿勢が見られた。

(2) 課題

- ・合唱で歌詞をしっかりと歌うことが出来ず、声の響きが暗くなることが多い。
- ・音楽の基礎知識、読譜力の定着と向上を目指す。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	実施なし	実施なし	実施なし
第2学年	実施なし	実施なし	実施なし
第3学年	実施なし	実施なし	実施なし

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正しい発声が身についておらず、技能に個人差がある。 アルトリコーダーの指づかいの定着に個人差がある。	どのように歌っていくか考えることが難しい生徒が多い。	意欲的に活動する生徒が多い。グループでの協働的な活動も意欲的である。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アルトリコーダーの指づかいの定着に個人差がある。 正しい発声が身についておらず、技能に個人差がある。 昨年度よりも声量は増してきた。	曲の表現を考えることができる生徒が少なく、工夫までに至らない。	意欲的に活動する生徒が多い。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正しい発声が身についておらず、声が響かない。 五線紙への正しい記譜の理解に個人差がある。	曲の表現を考えることができる生徒が少なく、工夫までに至らない。どのように表現したいか、歌唱表現することに課題がある。	意欲的に活動する生徒が多い。グループでの協働的な活動も意欲的である。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌唱では口をしっかりと開けることに気をつけ、発声を身につけさせる。 継続してアルトリコーダーに取り組むことで指づかいの定着を図る。	音楽記号に気をつけ、どのように表現するか、考えることを促す。	向上心をもって授業に取り組むことができるような場をつくる。 協働的に課題に取り組む場面を設ける。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲の良さや成り立ちについて理解を深め、聴くことができるように指導する。 歌詞が聴く人にはっきり伝わるよう、歌うことを意識させる。	音楽記号を意識し、曲や歌詞の内容にふさわしい表現を考えさせる。 タブレット等を使用して、客観的に表現の工夫について考える場をつくる。	パート練習で話し合いにより、お互いの意欲を高める活動を増やす。 協働的に課題に取り組む場面を設ける。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
響きのある明るい声での歌い方、歌詞の内容も伝わる歌い方を考えさせる。 曲のもつ音楽的な美しさと共に、曲にある背景を理解し、良さを見つけることができるように指導する。	響きのある明るい声での歌い方、歌詞の内容も伝わる歌い方を考えさせる。音楽の持つ良さや歌詞の内容をどのように表現すると、聴く側に伝わるかを意識させる。	パート練習で話し合いにより、お互いの意欲を高める活動を増やす。